

10.【人口の自然・社会増減率】「出生>死亡」の市区町村が 100 近くある

少子化対策の議論が盛んになっていますが、これは加速化する人口減少への危機感に基づいており、その主要因が出生数の減少によるものだからです。しかるに、全国の人口は減少を続けているのですが場所によっては人口が増加しているところもあって、増減には地域的な偏りがあります。

人口の増減は、自然増減と社会増減に分けられます。自然増減は「出生－死亡」で、社会増減は「転入－転出」が基本です。この値がプラスの場合は自然増、社会増、マイナスの場合は自然減、社会減と言われ、現在では「自然減＋社会減」となっているところが多いのが実情です。

この人口増減の程度を、自然増減率と社会増減率に分けて地域別の偏りを見てみることにします。ここでは、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」を用います。住民基本台帳は、住民登録に基づくもので、毎年の動態（出生・死亡・転入・転出）が市区町村別にわかります。住民票の数なので、実際に所在する地でカウントする国勢調査の人口とは異なる点に注意が必要です。

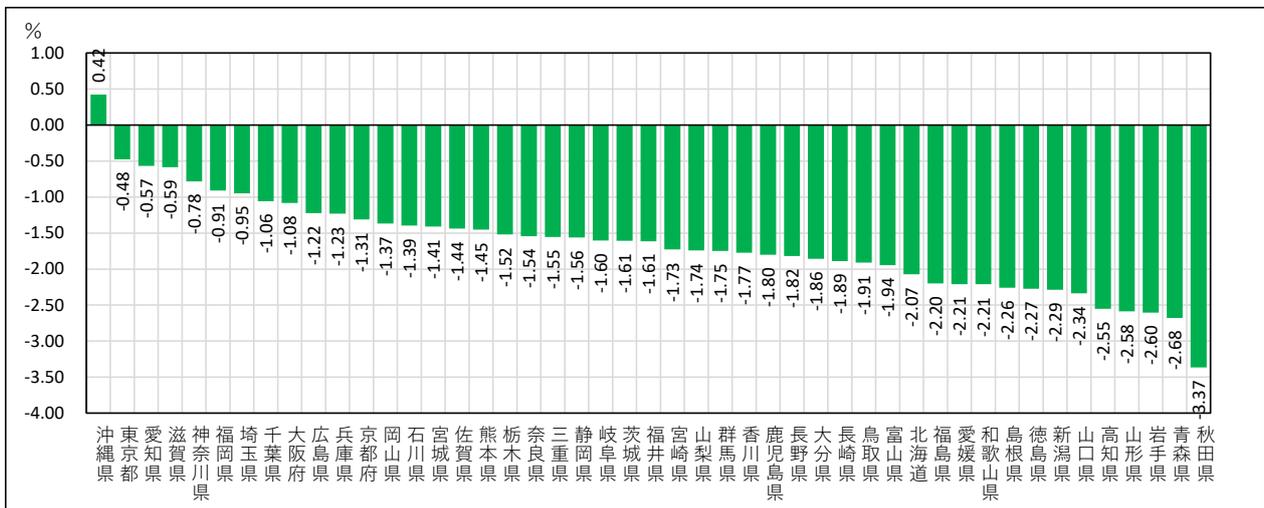
出生・死亡・転入・転出は毎年の値が公表されていますが、単年度だと特殊事情（大規模な住宅団地や施設の改廃など）が大きく影響することもあるので、平成 31（令和元）、令和 2、3 年の 3 年間の増減数を合計し、平成 31 年 1 月 1 日の人口に対する増減率として算出し比較することにします。

☞ 「自然増」は沖縄県のみ、「社会増」も大都市圏域と沖縄県の 10 都府県のみ

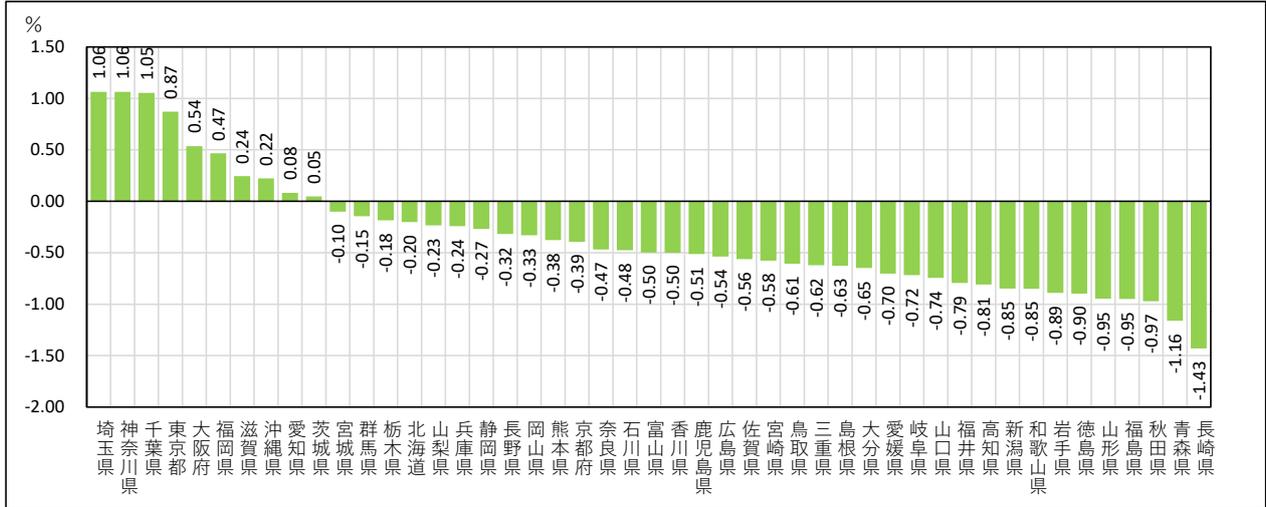
まず、都道府県別にみると、平成 31～令和 3 年の 3 年間の自然増減率がプラス、つまり、出生数が死亡数を上回ったのは沖縄県のみで、その他の 46 都道府県はすべてマイナス、つまり自然減です。最も低いのは秋田県の－3.37%で、同県は社会増減率も－0.97%と 45 位ですから、人口減少が構造的に深刻ということができます。

社会増減率がプラス（社会増）なのは、埼玉・神奈川・千葉県をはじめ大都市圏域と沖縄県の 10 都府県のみで、他の 37 道府県はやはりマイナス、つまり転出が転入を上回っています。全国的に人口が減少する中で大都市圏域に人が流れていることで、人口分布の地域的偏りが助長されている状況がわかります。なお、社会増の 10 都府県でも沖縄を除いて自然動態では自然減であり、大都市圏の活力も他の地方からの人口流入でかろうじて保たれていると言えます。

人口の自然増減率（平成 31（令和元）～令和 3 年）



人口の社会増減率（平成 31（令和元）～令和 3 年）



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

☞ 「自然増」の市区町村は 98 で那覇市周辺など、「社会増」は 459 で大都市近郊など

次に、市区町村別の平成 31～令和 3 年の 3 年間の自然増減率、社会増減率をそれぞれ大きい順に並べた中での上位・下位 20 の市区町村名と値を次ページの表に示します。なお、増減数が小さくても母数の人口が小さいと率が大きくなるため、参考として令和 4 年 1 月 1 日の人口を表中に併記します。また、自然増減と社会増減を合わせた人口増加率の上位・下位を、参考として右に示します。

3 年間の自然増減率が最大なのは沖縄県南風原（はえばる）町で、2 位は東京都中央区です。上位 20 位内に沖縄県の市町村が 8 つランクインしていますが、これらはいずれも那覇市に隣接するところです。県都の那覇の周囲で自然増（出生＞死亡）が保たれているのが特徴的です。また、自然増減率の最下位が東京都檜原村、次点が同奥多摩町であることも注目されます。

自然増減率がプラスの市区町村は 98 あり、全国人口減少の中で出生数が死亡数を上回る市区町村が 100 近くあるのは意外かもしれませんが、これを多いと見るか少ないと見るかは微妙なところでしょう。

社会増減率の 1 位は東京都青ヶ島村ですが、ここは人口が非常に少なく、官公庁職員の移動等が少ない数でも率では大きく反映される結果と思われます。2 位は千葉県流山市、3 位は同印西市で、以下、上位には大都市圏近郊の市町の名が多く見られます。自然増減率が最下位だった東京都檜原村、奥多摩町が社会増減率では上位を占めているのが興味深いところです。

<参考>

人口増減率（自然増減率＋社会増減率）
（平成 31（令和元）～令和 3 年）
の上位・下位

順位	(県)	市区町村名	人口増減率 (%)	(参考)人口 R4.1.1(人)
上	1	千葉 流山市	7.34	204,512
	2	東京 青ヶ島村	6.92	170
	3	千葉 印西市	6.25	107,633
	4	東京 中央区	5.49	171,419
	5	茨城 つくば市	5.45	246,541
	6	東京 千代田区	5.36	67,049
	7	熊本 嘉島町	4.93	9,891
	8	福岡 福津市	4.82	67,851
	9	富山 舟橋村	4.70	3,274
	10	沖縄 中城村	4.41	22,223
	11	長野 軽井沢町	4.13	21,231
	12	鹿児島 三島村	4.02	388
	13	沖縄 南城市	3.71	45,577
	14	神奈川 開成町	3.62	18,386
	15	愛知 長久手市	3.53	60,517
	16	茨城 守谷市	3.45	69,966
	17	埼玉 滑川町	3.32	19,670
	18	東京 国分寺市	3.32	127,792
	19	京都 木津川市	3.26	79,707
	20	大阪 島本町	3.26	31,899
.
下	1722	北海道 長万部町	-9.83	4,953
	1723	山梨 身延町	-9.86	10,720
	1724	北海道 福島町	-9.86	3,702
	1725	長野 白馬村	-9.89	8,513
	1726	福島 三島町	-10.25	1,471
	1727	長野 北相木村	-10.51	690
	1728	北海道 音威子府村	-10.62	682
	1729	山梨 早川町	-10.62	951
	1730	青森 佐井村	-10.63	1,825
	1731	北海道 歌志内市	-10.96	2,916
	1732	北海道 倶知安町	-11.13	14,789
	1733	北海道 松前町	-11.19	6,445
	1734	北海道 赤井川村	-11.65	1,115
	1735	北海道 幌加内町	-11.67	1,332
	1736	福島 飯舘村	-12.41	4,996
1737	奈良 野迫川村	-12.59	347	
1738	北海道 夕張市	-12.76	7,055	
1739	群馬 南牧村	-12.84	1,636	
1740	熊本 球磨村	-12.98	3,219	
1741	北海道 占冠村	-18.50	1,229	

大都市近郊では、ベッドタウンとしての人口流入により社会増となるケースが多いようですが、流山市などは子育て支援施策の充実から子育て世代の流入が目立っていることから、自然増にもつながりやすく、流山市の自然増減率も（表には現れていませんが）28位と上位にあり、自然・社会増減率を合わせた人口増加率も（前ページの表のように）トップです。

なお、社会増減率がプラス（転入超過）の市区町村数は459で、全体の1/3近くの市区町村が人口を吸引する位置にあるとも言えます。ただ、全国人口減少下で、今後さらに人の「取り合い」が激しくなると思われます。

市区町村別の人口の自然・社会増減率の上位・下位（平成31（令和元）～令和3年）

[自然増減率]

[社会増減率]

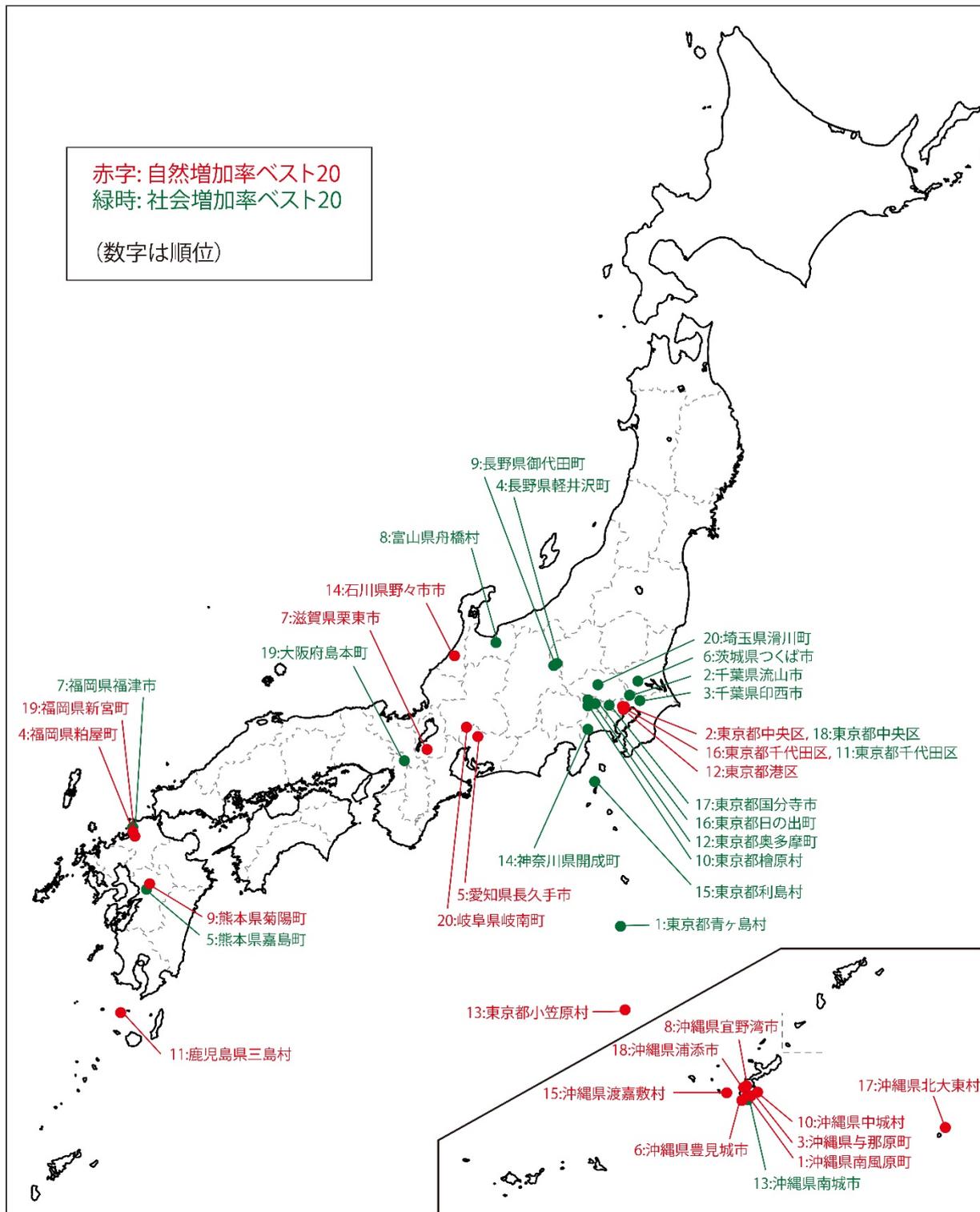
順位	(県)	市区町村名	自然増減率 (%)	(参考)人口 R4.1.1(人)
上	1	沖縄 南風原町	2.32	40,584
	2	東京 中央区	2.07	171,419
	3	沖縄 与那原町	1.84	20,071
	4	福岡 粕屋町	1.77	48,580
	5	愛知 長久手市	1.57	60,517
	6	沖縄 豊見城市	1.56	65,940
	7	滋賀 栗東市	1.56	70,364
	8	沖縄 宜野湾市	1.45	100,317
	9	熊本 菊陽町	1.38	43,335
	10	沖縄 中城村	1.35	22,223
	11	鹿児島 三島村	1.34	388
	12	東京 港区	1.30	257,183
	13	東京 小笠原村	1.30	2,575
	14	石川 野々市市	1.18	53,981
	15	沖縄 渡嘉敷村	1.10	716
	16	東京 千代田区	1.10	67,049
	17	沖縄 北大東村	1.02	561
	18	沖縄 浦添市	1.00	115,744
	19	福岡 新宮町	1.00	33,615
	20	岐阜 岐南町	1.00	26,272
・	・	・	・	・
下	1722	和歌山 古座川町	-6.81	2,529
	1723	秋田 藤里町	-6.87	3,002
	1724	福島 三島町	-6.89	1,471
	1725	高知 大豊町	-6.96	3,342
	1726	高知 仁淀川町	-7.04	4,970
	1727	青森 今別町	-7.13	2,426
	1728	奈良 東吉野村	-7.18	1,639
	1729	宮城 七ヶ宿町	-7.26	1,285
	1730	奈良 御杖村	-7.28	1,506
	1731	山口 周防大島町	-7.31	14,808
	1732	秋田 上小阿仁村	-7.31	2,113
	1733	奈良 川上村	-7.52	1,285
	1734	福島 昭和村	-8.00	1,172
	1735	山口 上関町	-8.01	2,505
	1736	群馬 神流町	-8.37	1,699
	1737	群馬 南牧村	-8.42	1,636
	1738	福島 金山町	-8.72	1,875
	1739	長野 天龍村	-8.91	1,167
	1740	東京 奥多摩町	-9.42	4,897
	1741	東京 檜原村	-10.96	2,069

順位	(県)	市区町村名	社会増減率 (%)	(参考)人口 R4.1.1(人)
上	1	東京 青ヶ島村	7.55	170
	2	千葉 流山市	6.59	204,512
	3	千葉 印西市	5.95	107,633
	4	長野 軽井沢町	5.73	21,231
	5	熊本 嘉島町	5.27	9,891
	6	茨城 つくば市	4.87	246,541
	7	福岡 福津市	4.73	67,851
	8	富山 舟橋村	4.57	3,274
	9	長野 御代田町	4.50	16,052
	10	東京 檜原村	4.29	2,069
	11	東京 千代田区	4.26	67,049
	12	東京 奥多摩町	3.98	4,897
	13	沖縄 南城市	3.83	45,577
	14	神奈川 開成町	3.79	18,386
	15	東京 利島村	3.72	332
	16	東京 日の出町	3.60	16,549
	17	東京 国分寺市	3.42	127,792
	18	東京 中央区	3.42	171,419
	19	大阪 島本町	3.33	31,899
	20	埼玉 滑川町	3.28	19,670
・	・	・	・	・
下	1722	北海道 松前町	-5.46	6,445
	1723	北海道 八雲町	-5.62	15,338
	1724	北海道 二セコ町	-5.72	4,946
	1725	北海道 長万部町	-5.83	4,953
	1726	沖縄 北大東村	-6.09	561
	1727	長野 北相木村	-6.36	690
	1728	北海道 留寿都村	-6.40	1,895
	1729	北海道 夕張市	-6.41	7,055
	1730	宮崎 諸塚村	-6.62	1,542
	1731	長野 小谷村	-6.94	2,697
	1732	北海道 羅臼町	-7.07	4,595
	1733	熊本 球磨村	-7.35	3,219
	1734	奈良 野迫川村	-7.56	347
	1735	北海道 幌加内町	-7.76	1,332
	1736	長野 白馬村	-7.94	8,513
	1737	福島 飯舘村	-8.70	4,996
	1738	北海道 赤井川村	-9.19	1,115
	1739	北海道 音威子府村	-9.57	682
	1740	北海道 倶知安町	-10.83	14,789
	1741	北海道 占冠村	-17.57	1,229

資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

自然増減率、社会増減率それぞれの上位 20 位内の市区町村の位置を下のマップに示します。自然増が顕著な市区町村は沖縄県のほか関東以西に、社会増が顕著な市区町村は大都市圏の周辺部に多く分布している様子がわかります。

「人口の自然増減率・社会増減率」上位の市区町村マップ（平成 31（令和元）～令和 3 年）



自然増が顕著な町では出産年齢の人口割合が濃厚

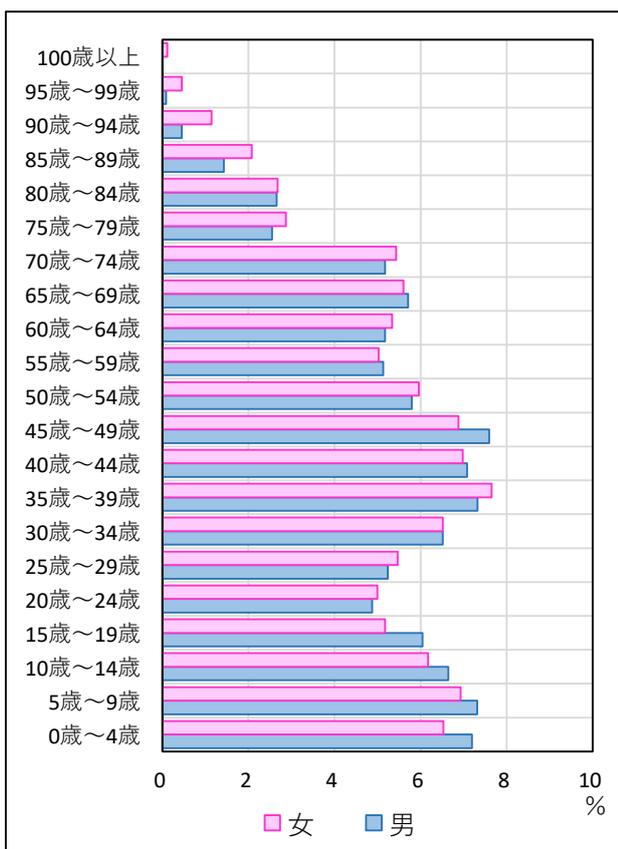
自然増減率が高い、つまり出生数が死亡数よりも多いところは、子どもを生む世代の割合が高いであろうことは容易に想像できますが、ここで、自然増減率トップの沖縄県南風原町と、最下位に近い（人口が1万人以上）山口県周防大島町の人口ピラミッド（令和4年1月1日現在）を比べてみましょう。

全国的には人口ピラミッドの形状が「釣り鐘型」から「壺型」になり、もはやピラミッドとは言えない状況ですが、下図のように、南風原町では、出産・子育て世代である30～40歳代の人口割合が顕著に高く、その結果として15歳未満の子ども的人口割合も同様に高くなっており、必ずしもピラミッドとは言えないまでも希望が持てる形状です。一方、周防大島町はこうした出産・子育て世代、子ども世代の膨らみがなくむしろ凹んでおり、65歳以上の高齢者の割合が異常に高い、逆ピラミッドとも言うべき形です。

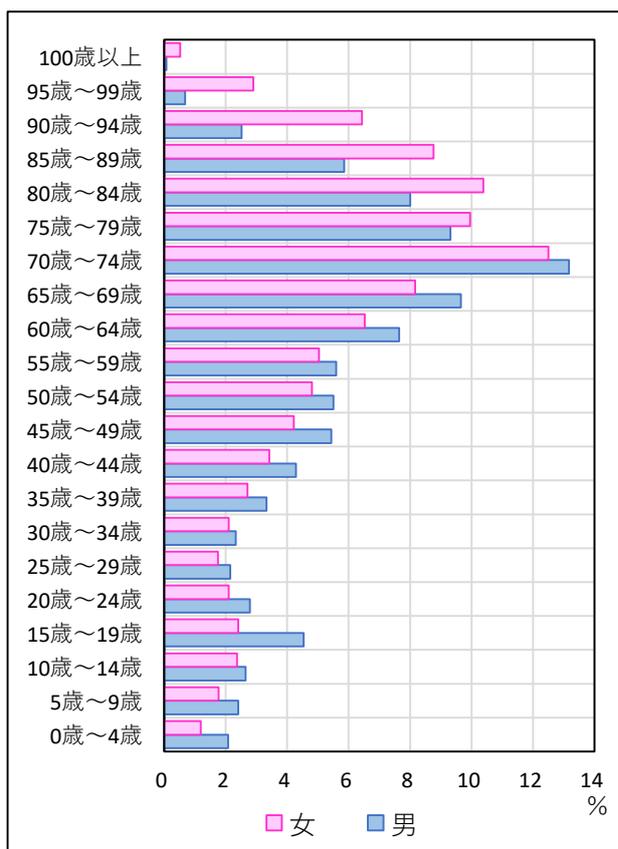
この2つの典型例を見るだけでも、国内での人口分布の偏りはさらに顕著になりそうだとと言えるでしょう。願わくば、前者のような例を国や他の地域が学んで、今後の少子化対策の立案、実行に活かしていただきたいと思います。

人口ピラミッド（令和4年1月1日現在）

沖縄県南風原町



山口県周防大島町



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査